

東日本大震災発生12年に当たっての知事コメント

東日本大震災の発生から12年を迎えるに当たり、改めて、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

被災地の復興は着実に進んできておりますが、本県でもいまだ380人の方々が避難生活を余儀なくされていることから、県としましては、県内に避難されているすべての方々が、安心して日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心に寄り添い、引き続き、きめ細かな支援に努めてまいります。

また、近年は気候変動の影響により、台風や豪雨、豪雪などの自然災害が頻発化・激甚化しているほか、南海トラフ地震をはじめとする大規模地震も予測されております。

これからも大震災の教訓を風化させることがないように、県民の防災意識の向上に努めるとともに、令和4年度からスタートした「新秋田元気創造プラン」に掲げる強靱な県土の実現と防災力の強化に向けて、総合的な防災・減災対策を進めてまいります。

令和5年3月11日

秋田県知事 佐竹 敬久